

# 肉用牛関係事業等一覧表

(2025年4月1日時点)

## 【簡単検索】キーワードと記載ページ(あいうえお順)

稲WC S (6p)	衛生 (17, 18, 19p)	エサ活 (8p)	エコフィード (10p)
改良 (5p)	加工販売施設 (12p)	家畜市場 (11p)	環境 (16, 17p)
機械導入(生産性向上) (2, 5p)	機械導入(飼料生産) (6~10p)	C S ・ C B S (4p)	牛舎 (1, 5p)
経営安定 (1p)	経営継承 (4p)	耕作放棄地 (7p)	国産濃厚飼料 (8, 9p)
コントラクター・TMRセンター(7p)	食肉センター (10, 11p)	飼料用米 (6p)	飼料流通合理化 (17p)
新規就農 (3, 4p)	制度資金 (11, 12, 15p)	地域ぐるみの新たな取組 (4p)	畜産G A P (15p)
地方特定品種 (4p)	繁殖雌牛の導入 (2p)	販路拡大 (11~13p)	復興 (19p)
放牧 (6, 7p)	哺乳ロボット (5p)	未利用資源 (9, 10p)	輸出 (13, 14p)

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
1 肉用牛経営の安定を図りたい	○繁殖経営の安定を図りたい	<b>〔ALIC事業〕</b> 肉用子牛生産者補給金 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	都道府県肉用子牛価格安定基金協会(※別表1)	・全国の家畜市場における肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、生産者補給金を交付します。
		<b>〔ALIC事業〕</b> 優良和子牛生産推進緊急支援事業 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	都道府県肉用子牛価格安定基金協会(※別表1)	・全国の家畜市場における肉用子牛のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、飼養管理向上のための取組メニューを行う生産者に対して、販売頭数に応じた奨励金を交付します。
		<b>〔ALIC事業〕</b> <b>新規事業</b> 肉用牛緊急特別対策のうち和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	都道府県肉用子牛価格安定基金協会(※別表1)	・全国の家畜市場における肉用子牛のブロック別平均価格が発動基準を下回った場合に、産地基盤強化に資する取組メニューを行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金1万円/頭(離島等は5万円/頭)を交付します。
	○肥育経営の安定を図りたい	<b>〔ALIC事業〕</b> 肉用牛肥育経営安定交付金(牛マルキン) ●企画課経営安定班	(独)農畜産業振興機構	・肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付(交付金の1/4に相当する額は、生産者の積立てによる積立金から交付)します。
2 生産基盤を強化したい	○牛舎を整備したい	<b>《一般予算(6年度補正)》</b> 畜産クラスター事業 ●企画課推進班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた中心的な経営体に対し、畜舎の整備等を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
2 生産基盤を強化したい (つづき)	○牛舎を整備したい	《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●企画課推進班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・肉用牛の地域内一貫生産、牛の 哺育育成を行うための畜舎、放 牧利用施設等の整備を支援しま す。
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・施設整備に必要な資金を融資し ます。
	○繁殖雌牛を増頭するために簡易牛舎がほしい	【ALIC事業】 肉用牛経営安定対策補完事業の うち肉用牛生産基盤強化対策 ●企画課経営安定班	民間団体	・繁殖雌牛を増頭するための簡易 牛舎(育成牛の簡易牛舎を含む) の整備や器具機材の導入を支援 します。
	○収益性の向上に必要な施設整備、機械導入をしたい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付け られた中心的な経営体に対し、 施設整備及び機械導入を支援し ます。
	○新たに投資をするにあたり、 既往負債の償還負担を軽減したい	《一般予算(既存基金を活用)》 畜産経営体質強化支援資金 ●企画課金融・税制班	民間団体	・意欲ある畜産農家の投資意欲を 後押しする既往負債の一括借換 資金を融資します。
	○離農農場を活用して規模 拡大したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班	民間団体	・農協や公社等が買入又は借入し た離農跡地において、畜舎等の 補改修を実施し、規模拡大する 者へ貸し付ける取組を支援しま す。
	○繁殖雌牛を増頭したい	《一般予算(既存基金を活用)》 乳用牛・繁殖牛増頭資金確保円 滑化事業(保証料免除) ●企画課金融・税制班	民間団体	・肉用繁殖雌牛の計画的な増頭の ために家畜の購入・育成に必要な 資金を借り入れる際の都道府 県農業信用基金協会による債務 保証に要する保証料を免除します。
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・肉用牛の増頭に必要な資金を融 資します。
○繁殖雌牛を導入したい	【ALIC事業】 肉用牛経営安定対策補完事業の うち肉用牛生産基盤強化対策 ●畜産振興課技術第1班	公募団体	・遺伝的多様性に配慮した繁殖雌 牛の導入を支援します。(6万円 /頭、9万円/頭(希少な父牛に由来 する繁殖雌牛))	
○繁殖雌牛を更新したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業のうち優良 繁殖雌牛更新加速化事業 ●畜産振興課技術第1班	民間団体	・畜産クラスター計画に基づき、 高齢な繁殖雌牛から、増体や肉質 に優れた優良な若い繁殖雌牛へ更 新した場合に奨励金を交付しま す。(10万円/頭、15万円/頭(希 少な父牛に由来する繁殖雌牛))	

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
2 生産基盤を強化したい(つづき)	○繁殖雌牛を選抜したい	《一般予算(7年度当初)》 新規事業 畜産生産力・生産体制強化事業のうち多様な改良形質の活用推進 ●畜産振興課技術第1班	民間団体 都道府県 農業者の組織する団体等	・遺伝的多様性を確保し、和牛改良基盤の強化を図るため、枝肉形質以外の新たな改良形質による繁殖雌牛の選抜のためのゲノミック評価を実施する取組に対して助成。
	○発情発見装置等の省力化機械を導入したい	《一般予算(6年度補正)》 拡充 畜産クラスター事業のうち、ICT化等機械装置等導入事業 ●畜産振興課家畜改良推進班	民間団体	・労働負担軽減・省力化に資する発情発見装置等のICT関連機器の導入を支援します。  ・スマート農業技術活用促進法に基づく計画の認定を受けた場合に省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備を支援します。
	○受精卵移植関係の施設を整備したい	《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 ●畜産振興課技術第1班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・受精卵供給施設の整備に助成します。
	○子牛の事故率を低下させたい	[ALIC事業] 肉用牛経営安定対策補完事業のうち肉用牛生産基盤強化対策 ●企画課経営安定班	公募団体	・子牛の健康維持に資する器具機材(細霧装置、子牛用ヒーター)の導入を支援します。 ・分娩時の子牛等の事故率低下のために、高齢な肉用牛農家への分娩代行管理を行う肉用牛ヘルパーの取組を支援します。
3 肉用牛経営を新たに始めたい	○新規就農をしたい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に中心的な経営体と位置付けられた新規就農者等に対し、施設整備、機械導入、家畜導入を支援します。  ・農協や公社等が買入又は借入した離農跡地において、畜舎等の補改修や家畜の導入を実施し、新規就農者等へ貸し付ける取組を支援します。
	○新規就農をしたい	《一般予算(7年度当初)》 新規就農者育成総合対策のうち就農準備資金・経営開始資金 ●経営局就農・女性課	就農準備資金： 都道府県等 経営開始資金： 市町村	・49歳以下の者に対し、就農準備や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を助成します。
		《一般予算(7年度当初)》 雇用就農の総合的な推進のうち雇用就農資金 ●経営局就農・女性課	全国農業会議所、 都道府県農業会議等	・49歳以下の就農希望者を新たに雇用して、実践研修を行う農業法人等に対して資金を助成します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
3 肉用牛経営を新たに始めたい(つづき)	○新規就農をしたい	《一般予算(7年度当初)》 農地利用効率化等支援交付金 ●経営局経営政策課	市町村等	・経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業 ●経営局就農・女性課	市町村	・49歳以下の新規就農者が、農業用機械・施設を導入する取組を支援します。
		《一般予算(6年度補正)》 新規就農者確保緊急円滑化対策のうち世代交代円滑化タイプ ●経営局就農・女性課	市町村	・経営を継承・発展するために必要となる農業用機械・施設・家畜の導入や、老朽設備の修繕・撤去等の取組を親元就農を含めて支援します。
		【融資制度】 日本政策金融公庫資金	日本政策金融公庫等	・農業経営を開始する際の施設の設置、機械の購入等に必要な資金を融資します。
	○肉用牛農家の後継者が支援を受けたい	《一般予算(7年度当初)》 経営継承・発展等支援事業 ●経営局経営政策課	民間団体	・地域計画に位置付けられ、地域の担い手から経営を継承した後継者等が行う、経営発展の取組(販路開拓、営農の省力化等)を、国と市町村が一体となって支援します。
4 地域全体で収益力を向上させたい	○地域ぐるみの新たな取組をしたい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課地域振興班	民間団体	・収益力を向上させる新たな取組を実証するための調査、分析等を支援します。 ・地域の連携をコーディネートする人材の育成を支援します。
	○キャトルステーション(CS)やキャトルブリーディングステーション(CBS)を整備したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班	民間団体	・キャトルステーション(CS)やキャトルブリーディングステーション(CBS)の整備等を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●企画課推進班	都道府県、市町村、農業者の組織する団体等	・キャトルステーション(CS)やキャトルブリーディングステーション(CBS)の整備等を支援します。
	○地方特定品種を振興したい	【ALIC事業】 肉用牛経営安定対策補完事業のうち地方特定品種の肉用牛振興対策 ●畜産振興課技術第1班	民間団体	・地方特定品種の特徴を活かし、生産者集団等が行う特徴的な飼料給与、放牧肥育、低コスト生産のためのまき牛導入、放牧地整備、計画的な出荷、飼養頭数の増頭に対して支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
5 低コスト化・省力化・高付加価値化などに取り組みたい	○肉用牛ヘルパーを活用したい	<b>【ALIC 事業】</b> 肉用牛経営安定対策補完事業のうち肉用牛生産基盤強化対策 ●企画課経営安定班	公募団体	・傷病時や高齢者のヘルパー利用等について支援します。
	○哺乳ロボット等の省力化機械を導入したい	<b>《一般予算（6年度補正）》</b> 畜産クラスター事業 ●企画課地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、哺乳ロボット等の省力化機械の導入を支援します。 ・電気使用量の削減等を通じた生産コストの抑制に資する省エネ機器の導入を支援します。
		<b>《一般予算（5年度補正）》</b> 畜産クラスター事業のうち、ICT化等機械装置等導入事業 ●畜産振興課家畜改良推進班	民間団体	・労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資する機械・装置の導入を支援します。
		<b>《一般予算（7年度当初）》</b> 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●企画課推進班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・畜舎と一体的に整備する哺乳ロボットを活用した超早期離乳等の新たな生産方式を導入する場合に支援します。
	○肥育期間の短縮・出荷月齢の早期化に取り組みたい	<b>《一般予算（7年度当初）》</b> 畜産生産力・生産体制強化対策事業（肥育期間の短縮・出荷月齢の早期化に向けた取組支援） ●畜産振興課技術第1班	民間団体	・早期出荷に取り組もうとする産地におけるコンソーシアムの設立 ・検討会の開催、先行事例の調査、早期出荷を実証する取組を支援します。
		<b>《一般予算（7年度当初）》</b> 畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進） ●畜産振興課技術第1班	民間団体	・肥育牛の出荷適期を見極めるために必要な機器（生体肉質診断機器）の導入を支援します。
6 肉用牛の能力向上を図りたい	○検定施設を整備したい	<b>《一般予算（7年度当初）》</b> 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●畜産振興課技術第1班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・肉用牛検定施設の整備等に対して助成します。
	○和牛の肥育牛の枝肉情報を知りたい（肥育農家）	<b>《一般予算（7年度当初）》</b> 畜産生産力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進） ●畜産振興課技術第1班	民間団体	・全国の肉用牛枝肉情報の収集・分析及び集計・分析結果の提供に対して支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい	○飼料生産のための機械・施設を整備したい	《一般予算（6年度補正）》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が自給飼料の増産や品質の向上等を図るために必要な施設整備、機械導入等を支援します。</li> <li>飼料自給率向上を図るため、飼料増産に取り組む畜産クラスター協議会を優先的に採択します。</li> </ul>
		《一般予算（7年度当初）》 強い農業づくり総合支援交付金 ＜農産局総務課生産推進室計上＞ ●飼料課飼料増産振興班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料作物作付条件整備等の飼料基盤整備、国産粗飼料の調製・保管施設の整備等の取組を支援します。</li> </ul>
○飼料用米を生産したい・使ってみいたい	○飼料用米を生産したい・使ってみいたい	《一般予算（7年度当初）》 水田活用の直接支払交付金 （戦略作物助成） ●農産局企画課	販売農家、集落営農	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規需要米取組計画の認定を受け、水田において飼料用米を生産・販売する場合、飼料用米の収量に応じて交付金を交付します。</li> </ul>
		《一般予算（6年度補正）》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う飼料用米の保管・加工・給餌に必要な施設整備、機械導入を支援します。</li> </ul>
		《一般予算（7年度当初）》 強い農業づくり総合支援交付金 ＜農産局総務課生産推進室計上＞ ●飼料課飼料増産振興班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料用米の調製や保管等に必要な施設の整備を支援します。</li> </ul>
		《一般予算（7年度当初）》 水田活用の直接支払交付金 （戦略作物助成） ●農産局企画課	販売農家、集落営農	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規需要米取組計画の認定を受け、水田においてWCS用稲を生産・販売する場合、WCS用稲の作付面積に応じて交付金を交付します。</li> </ul>
○稲発酵粗飼料(稲WCS)を生産したい・使ってみいたい	○稲発酵粗飼料(稲WCS)を生産したい・使ってみいたい	《一般予算（6年度補正）》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が自給飼料の増産や品質の向上等を図るために必要な施設整備、機械導入を支援します。</li> </ul>
		《一般予算（7年度当初）》 水田活用の直接支払交付金 （戦略作物助成） ●農産局企画課	販売農家、集落営農	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規需要米取組計画の認定を受け、水田においてWCS用稲を生産・販売する場合、WCS用稲の作付面積に応じて交付金を交付します。</li> </ul>
○中山間地域で飼料生産や放牧に取り組みたい	○中山間地域で飼料生産や放牧に取り組みたい	《一般予算（6年度補正）》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち飼料作物の生産性向上対策のうち中山間地域飼料増産活性化対策 ●飼料課草地整備事業班	農業者集団等	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域の実情を踏まえた飼料生産や放牧などの「飼料増産活性化計画」の作成、飼料増産活動や活動に必要な機械導入等を支援します。</li> </ul>

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい (つづき)	○耕作放棄地等を利用して放牧に取り組みたい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う、放牧に必要な電牧器等の導入を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●飼料課	都道府県、市町村、農業者の組織する団体等	・傾斜地等を蹄耕法や不耕起等により放牧地として利用するための牧柵の整備や放牧地整備等を支援します。
	○水田放牧に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 水田活用の直接支払交付金(産地交付金) ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・地域で作成する「水田収益力強化ビジョン」に基づき、水田放牧等の耕畜連携を含めた産地づくりに向けた取組を支援します。
	○水田を有効活用して粗飼料を生産したい	《一般予算(7年度当初)》 水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成) ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・実需者(畜産農家等)との品質等の条件を含めた利用供給契約に基づき、水田において飼料作物を生産・販売する場合に、飼料作物の作付面積に応じて交付金を交付します。
		《一般予算(6年度補正)》 畑地化促進事業 ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・水田を畑地化して飼料作物の本作化に取り組む農業者を支援します。
	○飼料として国産稲わらを有効活用したい	《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料の流通推進対策のうち国産稲わら等の利用拡大実証・調査 ●飼料課飼料増産振興班	民間団体等	・海外産稲わらと同等の利便性が高い国産稲わら等の生産に必要な実証・検討会・調査を支援します。
	○コントラクター、TMRセンターを整備、機能強化したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う、自給飼料の増産や品質の向上等を図るために必要な施設整備、機械導入を支援します。 ・飼料自給率向上を図るため、飼料増産に取り組む畜産クラスター協議会を優先的に採択します。
		《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●飼料課飼料増産振興班	都道府県、市町村、農業者の組織する団体等	・国産飼料の保管施設やTMRセンターの整備等を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい(つづき)	○飼料生産組織の作業の効率化や運営強化、規模拡大を図りたい	《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち飼料生産組織の体制強化支援(飼料生産組織の規模拡大支援、安定的な国産飼料の供給支援) ●飼料課飼料増産振興班	飼料生産組織	・飼料生産組織の規模拡大・省力化に必要な機械の導入や簡易倉庫の設置費用のほか、安定的に国産飼料を畜産農家に供給する1年目及び2年目の取組を支援します(拡大分面払い)。
		《一般予算(7年度当初)》 飼料備蓄・増産流通合理化事業のうち国産飼料増産対策事業のうち飼料生産組織の体制強化等支援事業 ●飼料課飼料増産振興班	飼料生産組織	・飼料生産組織のオペレーター確保に向けた募集活動や人材育成のための研修、大型特殊免許や必要な技術資格の取得を支援します。
	○生産性の高い飼料生産に取り組みたい	《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち飼料作物の生産性向上対策のうち草地改良技術等普及対策 ●飼料課草地整備事業班	農業者団体等	・裸地化の進行状況や雑草の侵入状況等を評価する草地診断の実施、高品質かつ高収量な草地や飼料畑に改良する難防除雑草駆除技術などの現地実証を支援します。
	○良質な飼料生産に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 <b>新規事業</b> 持続的生産強化対策事業のうち飼料生産基盤立脚型酪農・肉用牛産地支援事業(エサ活事業) ●企画課経営企画班	地域協議会、農業者団体等	・地域の酪農・肉用牛経営者等が連携して、飼料生産基盤及び国産生産資材を最大限に活用して良質な飼料の生産を最大化する取組等を支援します。
	○耕畜連携の取組により、飼料の利用拡大に取り組みたい	《一般予算(6年度補正)》 <b>拡充</b> 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料の流通推進対策のうち飼料供給連携体制整備事業(連携型) ●飼料課飼料生産計画班	協議会(畜産農家・耕種農家)  協議会(飼料生産組織)	・耕畜連携による長期(3年以上)の利用供給契約を締結した上で、畜産農家が、飼料作物を生産した耕種農家に対し、飼料分析・給与情報を提供する取組を支援します(拡大分数量払い)。  ・この取組において飼料生産組織が飼料作物の生産作業を行うために必要な機械等の導入を支援します。
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい(つづき)	○子実用とうもろこしなど国産濃厚飼料の生産等に取り組みきたい	《一般予算(7年度当初)》 飼料備蓄・増産流通合理化事業のうち国産濃厚飼料生産の推進 ●飼料課飼料生産計画班	民間団体 農業者団体等	・子実用とうもろこし等の国産濃厚飼料の生産実証の取組等を支援します。
	○子実用とうもろこしなど国産濃厚飼料の生産等に取り組みきたい	《一般予算(7年度当初)》 水田活用の直接支払交付金(戦略作物助成) ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・実需者(畜産農家等)との品質等の条件を含めた利用供給契約に基づき、水田において飼料作物を生産・販売する場合に、飼料作物の作付面積に応じて交付金を交付します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい(つづき)		《一般予算(7年度当初)》 水田活用の直接支払交付金 (子実用とうもろこし支援) ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・水田農業高収益化推進計画に位置付けられた産地の水田において、子実用とうもろこしを生産・販売する場合に、作付面積に応じて交付金を交付します。
		《一般予算(6年度補正)》 畑作物産地形成促進事業 ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・水田において、子実用とうもろこしの低コスト生産等に取り組む場合、取組面積に応じて支援します。
		《一般予算(6年度補正)》 畑地化促進事業 ●農産局企画課	販売農家、集落営農	・水田を畑地化して子実用とうもろこしの本作化に取り組む農業者を支援します。
	○草地の整備等を行いたい	《一般予算(公共)》 農業競争力強化農地整備事業のうち草地畜産基盤整備事業 <農村振興局計上> ●飼料課草地整備事業班	都道府県、 事業指定法人等	・大型機械による効率的な飼料生産を推進するため、畜産主産地における草地の整備等を支援します。
		《一般予算(公共)》 農山漁村地域整備交付金のうち草地畜産基盤整備事業 <農村振興局計上> ●飼料課草地整備事業班	都道府県、 事業指定法人	・地方の裁量による農山漁村地域における草地の整備等を支援します。
		《一般予算(公共)》 沖縄振興公共投資交付金のうち草地畜産基盤整備事業 <内閣府計上> ●飼料課草地整備事業班	沖縄県、事業指定法人	・沖縄県の裁量により地域営農の継続に必要な飼料生産に係る取組を推進するため、草地の整備等を支援します。
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・採草放牧地を借りる際に必要な資金、牧野の改良・造成等に必要な資金を融資します。 ・採草放牧地の排水改良、土壌改良等の整備に必要な資金を融資します。
○未利用資源等を飼料として活用してみたい	《一般予算(7年度当初)》 飼料備蓄・増産流通合理化作業のうち国産飼料増産対策事業のうち国産濃厚飼料生産の推進(未利用資源等の利用技術実証・普及) ●飼料課飼料利用調整班	民間団体、生産者集団等	・地域の未利用資源等を飼料として利用する技術の実証・普及を支援します。	

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴	
7 飼料基盤を整備し、国産飼料の生産・利用の拡大を図りたい(つづき)	○未利用資源等を飼料として活用してみたい	《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料の流通推進対策(新飼料資源の利用拡大) ●飼料課飼料利用調整班	民間団体等	・新飼料資源に係る調査・分析、新飼料資源を利用した飼料の生産・利用拡大に必要な機械の導入を支援します。	
		《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が行う、エコフィードや未利用資源の保管・加工・給与に必要な施設整備、機械導入を支援します。	
		《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●飼料課飼料利用調整班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・未利用資源の飼料化に必要な複数の畜産経営が共同で利用する未利用資源調製貯蔵施設の整備を支援します。	
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・食品製造業者等における食品製造副産物等を再資源化するために必要な加工、運搬、貯蔵又は回収のための施設の整備に係る資金を融資します。	
	○国産飼料の広域流通・販売拡大を図りたい		《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班、地域振興班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体が生産飼料の増産や品質の向上等を図るために必要な施設整備、機械導入を支援します。
			《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●飼料課飼料増産振興班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・国産粗飼料の広域流通体制の構築に必要な保管施設等の整備を支援します。
			《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料の流通推進対策のうち飼料供給連携体制整備事業(供給型) ●飼料課	国産飼料生産者	・国産飼料生産者が品質表示を行いつつ販売を拡大する取組に対して奨励金を交付します(前年度からの拡大分数量払い)。
			《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料の流通推進対策のうち国産粗飼料流通体制構築対策 ●飼料課	飼料販売業者等	・国産粗飼料取扱業者(販売業者)が畜産農家に、国産粗飼料の販売計画を提示して複数年にわたる販売契約を締結し、国産粗飼料の広域流通を新規に又は拡充して行う取組に対して支援します。
			《一般予算(6年度補正)》 国産飼料生産・利用拡大緊急対策事業のうち国産飼料流通拠点整備対策 ●飼料課	民間団体 都道府県協議会	・国産飼料の販売拡大を図る者が国産飼料の流通拠点を整備するために行う飼料の保管施設、成形・加工施設等の整備を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
8 肉用子牛の市場流通の活性化を図りたい	○家畜市場の整備をしたい	《一般予算（7年度当初）》 強い農業づくり総合支援交付金 ＜農産局総務課生産推進室計上＞ ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・家畜の流通合理化に係る都道府県計画に基づく家畜市場の整備を支援します。
		《一般予算（6年度補正）》 <b>新規部分</b> 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち家畜市場再編整備支援事業 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	生産者団体等	・家畜の流通合理化に係る都道府県計画に基づく家畜市場の再編に必要な施設整備等を支援します。
		《一般予算（7年度当初）》 <b>新規部分</b> 食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業のうち家畜流通基盤強化推進支援事業 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	生産者団体等	・家畜市場の再編に必要な既存施設の持続化や家畜取引機能の強化に必要な設備・機器の整備等を支援します。
		【ALIC事業】 食肉流通改善合理化支援事業のうち食肉流通施設等設備改善支援事業 ●食肉鶏卵課素畜価格流通班	農協等	・家畜市場の機能高度化のための、セリシステム、誘導レール等の施設整備を支援します。 ・家畜市場の環境・衛生対策のための車両洗浄機等の整備を支援します。
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・農協等が行う家畜市場の施設整備に必要な資金を融資します。
9 畜産物の生産から加工・販売まで行いたい	○産地食肉センターの整備をしたい	《一般予算（7年度当初）》 強い農業づくり総合支援交付金 ＜農産局総務課生産推進室計上＞ ●食肉鶏卵課食肉流通班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・食肉の流通合理化に係る都道府県計画に基づく産地食肉センターの整備を支援します。
		《一般予算（7年度当初）》 食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業のうち食肉流通再編合理化推進事業等 ●食肉鶏卵課食肉流通班	畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者によるコンソーシアム	・食肉流通構造を高度化し、輸出拡大を図るための5か年計画（コンソーシアム計画）の策定やその実現に向けた協議会等の開催、コンソーシアム計画に位置付けられた、食肉処理施設の再編に必要な施設整備等を支援します。
		《一般予算（6年度補正）》 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者によるコンソーシアム	・国産食肉の生産・流通体制の強化及び輸出拡大を図るためのコンソーシアム計画の策定やその実現に向けた協議会等の開催、コンソーシアム計画に位置付けられた食肉処理施設の再編等に必要な施設整備等を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
9 畜産物の生産から加工・販売まで行いたい (つづき)	○産地食肉センターの整備をしたい	《一般予算(6年度補正)》 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち食肉処理基幹施設整備事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	都道府県を中心とした コンソーシアム	・国産食肉の生産・流通体制の強化を図るためのコンソーシアム計画の策定やその実現に向けた協議会等の開催、稼働率が高く生産量の多い中核的な基幹施設として都道府県が計画で定める食肉処理施設の合理化等を支援します。
		《一般予算(6年度補正)》 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち輸出対応型畜産物処理加工施設整備事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	農協等	・畜産物の輸出拡大を図るために必要となる畜産物処理加工施設の整備を支援します。
		【ALIC事業】 食肉流通改善合理化支援事業のうち食肉流通施設等設備改善支援事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	農協等	・産地食肉センターにおける処理等の効率化、コスト低減、環境対策、衛生管理の高度化に必要な設備改善を支援します。
		【ALIC事業】 肉用牛緊急特別対策事業のうち食肉処理高度化緊急特別対策事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	農協等	・食肉処理施設において、2施設以上で連携計画を策定した場合、浄化槽、冷蔵庫等の整備・改修を支援します。
		【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・農協等が行う施設整備に必要な資金を融資します。
	○畜産物加工・販売施設を整備したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班	民間団体	・畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体に対し、畜産物加工、展示・販売施設の整備を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●企画課推進班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・生産者が自ら加工を行うための畜産物加工施設の整備を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 <b>拡充部分</b> 食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業のうち輸出食肉処理施設機能高度化事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・食肉処理施設における精肉等加工施設・設備等の整備や、輸出認定施設外の食肉加工施設の整備等を支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 農山漁村振興交付金のうち地域資源活用価値創出対策(産業支援型) ●農村振興局都市農村交流課	農林漁業者の組織する 団体、中小企業者等	・農林漁業者等が多様な事業者と連携し、制度資金等の融資又は出資を活用して農林水産物等の地域資源を活用した付加価値を創出する取組に必要な加工・販売施設等の整備を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
9 畜産物の生産から加工・販売まで行いたい (つづき)	○畜産物加工・販売施設を整備したい	【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金	・ 農畜産物の需要を開拓するため、新たな農畜産物の加工品等の調査及び開発等に必要な資金を融資します。
	○国内販路の開拓、新商品開発等に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 農山漁村振興交付金のうち地域資源活用価値創出対策(創出支援型) ●農村振興局都市農村交流課	農林漁業者、 民間団体等	・ 農林漁業者等が多様な事業者と連携して行う新商品開発・販路開拓等を支援します。
		【ALIC事業】 和牛肉需要拡大緊急対策事業 ●食肉鶏卵課食肉需給班	食肉事業者団体等	・ 食肉事業者が計画に基づき行う和牛肉の需要開拓の取組に対して奨励金を交付します。
10 輸出に取り組みたい	○畜産物の海外市場を開拓したい	《一般予算(6年度補正)》 畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業 ●食肉鶏卵課	畜産農家、輸出事業者、 食肉処理施設等による コンソーシアム	・ 畜産農家等、食肉処理施設等、輸出事業者が連携し、生産から輸出まで一貫して輸出促進を図る体制(コンソーシアム)の育成・設立、コンソーシアムが実施する商談や輸出先国の基準やニーズに対応するための取組等を支援します。
		《一般予算(7年度当初・6年度補正)》 新市場開拓推進事業のうち戦略的輸出拡大サポート事業 ●輸出・国際局輸出企画課	日本貿易振興機構 (JETRO)	・ 事業者等が、海外見本市や国内外の商談会等への参加、専門家への相談及び輸出先国の制度や市場情報の入手等の必要な支援を日本貿易振興機構(JETRO)から受けられます。
		《一般予算(6年度補正)》 グローバル産地生産流通基盤強化緊急対策のうちGFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト ●輸出・国際局輸出支援課	農林漁業者、都道府県、市町村、民間団体等	・ 地域の関係者で組織する輸出推進体制の下、海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換に取り組み、国内生産基盤の維持・強化を図る大規模輸出産地のモデル形成を集中的に支援します。
		《一般予算(7年度当初)》 グローバル産地づくり推進事業のうち大規模輸出産地モデル形成等支援事業 ●輸出・国際局輸出支援課	農林漁業者、都道府県、市町村、民間団体等	・ 地域の関係者で組織する輸出推進体制の下、海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換を通じた輸出産地のモデル形成等を複数年にわたり支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
10 輸出に取り組みたい（つづき）	○畜産物の海外市場を開拓したい	《一般予算（7年度当初）》 農山漁村振興交付金のうち地域資源活用価値創出対策（創出支援型） ●農村振興局都市農村交流課	農林漁業者、 民間団体等	・農林漁業者等が多様な事業者と連携して行う新商品開発・販路開拓等を支援します。
	○輸出先国に対応した施設等を整備したい	《一般予算（7年度当初）》 食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業のうち食肉流通再編合理化推進事業等 ●食肉鶏卵課食肉流通班	畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者によるコンソーシアム	・食肉流通構造を高度化し、輸出拡大を図るための5か年計画（コンソーシアム計画）の策定やその実現に向けた協議会等の開催、コンソーシアム計画に位置付けられた、食肉処理施設の再編に必要な施設整備等を支援します。
		《一般予算（6年度補正）》 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	畜産農家・食肉処理施設・食肉流通事業者の3者によるコンソーシアム	・国産食肉の生産・流通体制の強化及び輸出拡大を図るためのコンソーシアム計画の策定やその実現に向けた協議会等の開催、コンソーシアム計画に位置付けられた、食肉処理施設の再編に必要な施設整備等を支援します。
		《一般予算（6年度補正）》 食肉等流通構造高度化・輸出拡大事業のうち輸出対応型畜産物処理加工施設整備事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	畜産物処理加工施設	・畜産物の輸出拡大を図るために必要となる畜産物処理加工施設の整備を支援します。
		《一般予算（7年度当初）》 <b>拡充部分</b> 食肉流通構造高度化・輸出拡大施設整備事業のうち輸出食肉処理施設機能高度化事業 ●食肉鶏卵課食肉流通班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・食肉処理施設における精肉等加工施設・設備等の整備や、輸出認定施設外の食肉加工施設の整備等を支援します。
		《一般予算（7年度当初・6年度補正）》 食品産業の輸出向け HACCP 等対応施設整備事業 ●輸出・国際局輸出支援課	民間団体等	・食品製造事業者等が行う、輸出向け HACCP 等に対応するための施設・機器整備を支援します。
	○輸出に向けて国際的に通用する認証を取得したい	《一般予算（7年度当初）》 輸出先国規制対応支援事業  《一般予算（6年度補正）》 国際的に通用する認証等取得緊急支援事業 ●輸出・国際局規制対策グループ	民間団体等	・輸出先の拡大を図るため、輸出先国の消費者や取引先から求められている又は輸出要件になっている国際的に通用する認証等の新規取得のための、食品安全等の管理体制の整備や審査に要する費用等について支援します。
○輸出に向けて生産頭数を増やしたい（生産基盤を強化したい）	《一般予算（6年度補正）》 畜産クラスター事業 ●企画課推進班	民間団体	・輸出に取り組む協議会の畜舎等の施設整備を支援します。 ・輸出に取り組むコンソーシアム（肉用牛農家、食肉処理施設、輸出事業者等）と連携した生産地帯の畜舎等の施設整備を支援します。	

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
11 GAPに取り組みたい	○畜産GAPの認証を取得したい	《一般予算（7年度当初）》 持続的生産強化対策事業のうち 持続可能性配慮型畜産推進 ●畜産振興課畜産生産工程管理班	都道府県	・畜産生産者によるGAP認証取得等の取組を支援します。
12 経営改善のために制度資金等を活用したい	○経営改善のための資金を借りたい	【融資制度】 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・施設等の取得、改良、造成、家畜の購入、育成等に必要な資金を融資します。
	○安定的な経営を行うために短期運転資金を借りたい	【融資制度】 農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	農協系統金融機関等	・農業経営改善計画の達成に必要な短期運転資金(飼料代、素畜代など)を融資します。
	○既に他の畜種を飼養しているが、新たに酪農経営に取り組みたい	【融資制度】 日本政策金融公庫資金	日本政策金融公庫等	・新たに酪農経営に取り組む場合に、農地や施設の改良、取得、造成、家畜の購入、育成等に必要な資金を融資します。
	○新たな生産方式、または新たな加工事業に取り組みたい	【融資制度】 日本政策金融公庫資金	日本政策金融公庫等	・コストの削減に資する先駆的な技術や、自ら生産した畜産物の加工事業を新たに開始する場合に必要な資金を融資します。
	○売上が減少したので、緊急的な運転資金を借りたい	【融資制度】 日本政策金融公庫資金	日本政策金融公庫等	・社会的・経済的な環境変化等に対応するために必要な運転資金を融資します。
	○負債の借換をしたい	【ALIC事業】 畜産特別支援資金融通事業のうち 大家畜・養豚特別支援資金 (畜産リノベ資金) ●企画課金融・税制班	(公社)中央畜産会、 都道府県畜産協会等	・償還が困難な負債の借換資金を長期・低利で融通します。
		【ALIC事業】 <b>新規部分</b> 畜産特別支援資金融通事業のうち 酪農・肉用牛担い手緊急支援資金 (酪肉支援資金) ●企画課金融・税制班	(公社)中央畜産会、 都道府県畜産協会等	・社会的、経済的環境の変化等により、資金繰りが不安定な担い手に対し、3年分の償還額の借換資金を長期・低利で融通します。
【融資制度】 農業経営負担軽減支援資金 日本政策金融公庫資金		農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・負債の償還が困難となっている農業者に対し、その償還負担の軽減を図るのに必要な資金を融資します。	

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体 又は窓口	事業等の特徴
12 経営改善のために制度資金等を活用したい(つづき)	○家畜伝染病の発生により悪化した経営を改善したい ・一度経営を中止した後、再開のための資金を借りたい	<b>【ALIC事業】</b> 畜産特別支援資金融通事業のうち家畜疾病経営維持資金 ●企画課金融・税制班  <b>新規部分</b> <b>【ALIC事業】</b> 畜産特別支援資金融通事業のうち家畜疾病経営維持資金(クイック融資メニュー) ●企画課金融・税制班	(公社)中央畜産会、都道府県畜産協会等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BSEや口蹄疫等の家畜伝染病の発生により被害を受けた畜産経営に対し、低利資金を融通します。</li> <li>・BSEや口蹄疫等の家畜伝染病の発生に伴う家畜の処分により急激に資金繰りが悪化した畜産経営に対し、無利子資金を迅速に融通します。</li> </ul>
		<b>【融資制度】</b> 日本政策金融公庫資金	日本政策金融公庫等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等の発生により被害を受けた農業者に対し、低利資金を融資します。</li> </ul>
	○ABL(動産担保融資)の導入に向けた推進体制を構築したい	<b>【ALIC事業】</b> 畜産特別支援資金融通事業のうち畜産動産担保融資活用支援事業 ●企画課金融・税制班	民間団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ABL(動産担保融資)の活用事例の蓄積や家畜の一般担保化へ向けた課題等の検討、普及・啓発のための研修会の開催等を支援します。</li> </ul>
	13 環境対策への取組を行いたい	○家畜排せつ物の処理及び利用促進のための機械・施設を整備したい	<b>《一般予算(公共)》</b> 農山漁村地域整備交付金のうち畜産環境総合整備事業 <農村振興局計上> ●飼料課草地整備事業班	都道府県、事業指定法人
<b>《一般予算(公共)》</b> 沖縄振興公共投資交付金のうち畜産環境総合整備事業 <内閣府計上> ●飼料課草地整備事業班			沖縄県、事業指定法人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の裁量による草地の造成整備と併せて行う家畜排せつ物処理施設等の整備を支援します。</li> </ul>
<b>《一般予算(7年度当初)》</b> 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●畜産振興課環境保全班			都道府県、市町村、農業者の組織する団体等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業において中心的な役割を果たしている農業法人や農業者団体等に対し、産地の収益力強化と担い手の経営発展を推進するために必要な農業用機械・施設の導入を支援します。</li> </ul>
<b>《一般予算(6年度補正)》</b> 畜産環境対策総合支援事業 ●畜産振興課環境保全班			都道府県、協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好気性強制発酵による堆肥の高品質化・ペレット化や、悪臭防止・汚水処理のための高度な畜産環境対策に必要な施設整備等を支援します。</li> </ul>
<b>《一般予算(7年度当初・6年度補正)》</b> みどりの食料システム戦略推進交付金のうちバイオマスの地産地消 ●大臣官房環境バイオマス政策課			畜産・酪農経営者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜排せつ物等のバイオマスを活用し、エネルギーの地産地消の実現に向けたバイオガスプラントの施設・機械の導入等を支援します。</li> </ul>
<b>【融資制度】</b> 農業近代化資金 日本政策金融公庫資金			農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥化施設等の整備に必要な資金を融資します。</li> </ul>

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
13 環境対策への取組を行いたい	○堆肥舎等の補修や簡易堆肥舎の整備をしたい	【ALIC事業】 堆肥舎等長寿命化推進事業 ●畜産振興課環境保全班	全国団体 生産者団体等	・堆肥舎や污水处理施設の長寿命化のための補修、簡易堆肥舎の整備の実証を支援します。
	○畜産周辺環境を改善したい	《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●畜産振興課環境保全班  《一般予算(6年度補正)》 畜産環境対策総合支援事業 ●畜産振興課環境保全班	都道府県、市町村、農業者の組織する団体等  都道府県、協議会	・畜産に起因する排水や悪臭による周辺環境への影響を軽減するために必要な浄化処理施設や脱臭施設の整備を支援します。
		【融資制度】 農業近代化資金  日本政策金融公庫資金	農協系統金融機関等 日本政策金融公庫等	・浄化処理施設等の整備に必要な資金を融資します。
14 飼料の製造・輸送の合理化に取り組みたい	○飼料流通の合理化に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 飼料備蓄・増産流通合理化事業のうち飼料穀物備蓄・流通合理化事業のうち飼料流通合理化対策 ●飼料課需給対策第1班	協議会等	・IoTを活用した飼料の在庫・配送管理や飼料タンク蓋遠隔開閉装置の設置による労働負担軽減等飼料流通の効率化にかかる実証等を支援します。
	○配合飼料の製造の合理化に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 飼料備蓄・増産流通合理化事業のうち飼料穀物備蓄・流通合理化事業のうち配合飼料製造合理化対策 ●飼料課需給対策第1班	配合飼料製造業者等 協議会	・配合飼料製造業者等が行う、配合飼料工場の事業再編に向けた検討会や調査、計画策定の取組等を支援します。
15 衛生対策に取り組みたい	○牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策事業 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・牛伝染性リンパ腫の発生農場等における自主検査や高リスク牛のとう汰、共同放牧場での自主検査及び吸血昆虫の駆除対策等に助成します。
	○ヨーネ病の清浄化に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策事業 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・ヨーネ病の自主検査及び検査陽性牛等の自主とう汰の推進に助成します。 ・ヨーネ病防疫を推進するため講習会の開催に支援します。
	○牛ウイルス性下痢の清浄化に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策事業 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・持続感染牛の摘発に必要な検査、持続感染牛のとう汰、ワクチンの接種に助成します。 ・本病の防疫対策を推進するための講習会開催に助成します。
	○ランピースキン病の清浄化に取り組みたい	【ALIC事業】 ランピースキン病まん延防止自主対策促進事業 ●消費・安全局動物衛生課保健衛生班	(公社)中央畜産会	・発症牛や発生農場由来牛を自主とう汰した場合の再導入を支援します。

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
15 衛生対策に取り組みたい(つづき)	○ランピースキン病の清浄化に取り組みたい	《一般予算(7年度当初・6年度補正)》 消費・安全対策交付金(ソフト) ●消費・安全局動物衛生課保健衛生班	都道府県等	・出荷自粛中の生乳の適切な廃棄処分に係る費用を支援します。
	○飼養衛生管理の向上に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策事業 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・飼養衛生管理の向上のため、獣医師や専門家による衛生指導(ねずみ及びはえ等の害虫の駆除対策等を含む)を受ける場合の費用を助成します。
	○農場で発生している疾病等の清浄化・発生予防に取り組みたい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・関係者一体となった取組において、地域カルテ・農場カルテの作成、管理獣医師による衛生管理指導等を支援します。
		《一般予算(7年度当初・6年度補正)》 消費・安全対策交付金(ソフト・ハード) ●消費・安全局動物衛生課保健衛生班	都道府県等	・地域の実情に則した疾病予防・まん延防止マニュアルを作成し、当該マニュアルに則した講習会の開催、衛生検査専門家やステーキホルダーと連携した衛生指導・点検(新規部分)等の地域が一体となった取組等を支援します。 ・地域が一体となった家畜の伝染性疾病の清浄化の取組を支援します。 ・農場でのHACCPの普及・定着を支援します。(認証審査費用の支援を含む(新規部分)) ・野生動物の侵入防止対策や消毒など農場バイオセキュリティの向上に取組む地域の資材(防鳥ネット、消毒装置等)の整備を支援します。 ・農場の分割管理の導入に当たり追加で必要となる施設(更衣室、車両消毒施設等)の整備を支援します。
	○吸血昆虫が媒介する疾病等の発生を予防したい	《一般予算(7年度当初)》 家畜衛生総合対策のうち家畜生産農場衛生対策事業 ●消費・安全局動物衛生課防疫業務班	公募団体等(※別表2)	・対象疾病発生地域における組織的なワクチン接種に対して助成します。
○万が一の口蹄疫等の発生に備えたい	[ALIC事業] 家畜防疫互助基金支援事業 ●消費・安全局動物衛生課保健衛生班	都道府県畜産協会等(※別表2)	・生産者自ら積み立てを行い、伝染性疾病(口蹄疫、牛疫、牛肺疫)の発生時に、経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに助成します。	

支援を受けたい事項	具体的な内容	対応する事業等	実施主体又は窓口	事業等の特徴
15 衛生対策に取り組みたい(つづき)	○地域の家畜衛生水準向上のための畜舎を整備したい	《一般予算(7年度当初)》 強い農業づくり総合支援交付金 <農産局総務課生産推進室計上> ●企画課推進班	都道府県、市町村、 農業者の組織する団体等	・導入家畜等の隔離又はオールアウト等による空舎期間の確保のために一時的に利用する畜舎の整備に助成します。
16 東日本大震災からの復旧・復興を図りたい	○避難指示区域等において、営農活動を再開したい	《特別会計》 福島県営農再開支援事業 <復興庁計上> ●畜産振興課 ●飼料課	市町村、生産者団体等	・営農再開等に必要な繁殖雌牛の導入を支援します。 ・牧草の品種・品目転換や反転耕・深耕など放射性物質の吸収抑制対策を支援します。
	○東日本大震災の被災地等において、安全な畜産物を生産できる環境を確保したい	《特別会計》 農畜産物放射性物質影響緩和対策事業(対象地域:岩手県、宮城県、栃木県) <復興庁計上> ●飼料課 ●畜産振興課	県、市町村、 生産者団体等	・牧草の品種・品目転換や反転耕・深耕など放射性物質の吸収抑制対策を支援します。 ・汚染された牧草等の処理を推進するための処理に向けた検討会等の開催、放射性セシウムの再測定等を支援します。
	○被災12市町村において、高付加価値産地を創出したい	《特別会計》 福島県高付加価値産地展開支援事業 <復興庁計上> ●企画課 ●畜産振興課 ●飼料課	生産者団体、 民間事業者等	・高付加価値産地の拠点となる畜産共同利用施設の整備や高付加価値産地の展開に必要な機械リース、高能力な繁殖用牛の導入、高能力牛の受精卵の導入、耕畜連携の推進、コントラクターの育成等を支援します。
	○福島県産畜産物に対する風評を払拭したい	《特別会計》 福島県農林水産業復興創生事業 <復興庁計上> ●畜産振興課 ●飼料課 ●企画課	市町村、生産者団体、 民間団体等	・「福島牛」のブランド強化のため、新たな和牛改良・飼養技術の確立、県内市場からの肥育素牛の導入、販売促進活動等を支援します。 ・高品質な粗飼料の生産・供給に向け、飼料生産組織を支援します。

このほか、新型コロナウイルス感染症対策や地震、台風等の災害からの復旧・復興に関しては、農林水産省の逆引き辞典をご覧ください。

**【ALIC事業】**は、(独)農畜産業振興機構(ALIC)が実施する「経営安定対策」及び「畜産業振興事業」。

**【融資制度】**は、企画課金融税制班他で担当。

**新規事業**は、令和7年度の新たな事業。

**新規部分**は、継続事業で令和7年度に新たに取組を追加する内容。

**拡充部分**は、継続事業で令和7年度から拡充する内容。